

宮本忠長展

五十二年の軌跡



2017.10.28 SAT - 10.29 SUN
AM10:00 - PM5:00

小布施町北斎ホール 〒381-0201 長野県上高井郡小布施町小布施1491番地2
TEL026-247-3111

入場料無料

昭和39年(1964年)東京オリンピックの年に、宮本忠長は故郷に戻り、設計事務所を設立、最初の仕事は長野市役所庁舎の設計でした。以来52年、地方にあって建築設計・まちづくりに従事し、県内各地をはじめ、全国各地に優れた業績を残し、作品はいずれも地域のシンボルとして親しまれています。特に小布施町の町並修景については全国のまちづくりのお手本として今も各地からの視察者が絶えることがありません。

また、永年、長野県建築士会長、日本建築士会連合会長などの役職も務める多忙な中で、スケッチブックや御朱印帳として使われているじゃばら式のノートに描きためられた絵画・スケッチは百数十冊にも及び、その作品は、建築物をはじめ、旅先の風景から庭先の花々まで、人柄の滲む散文とともに書き留められています。

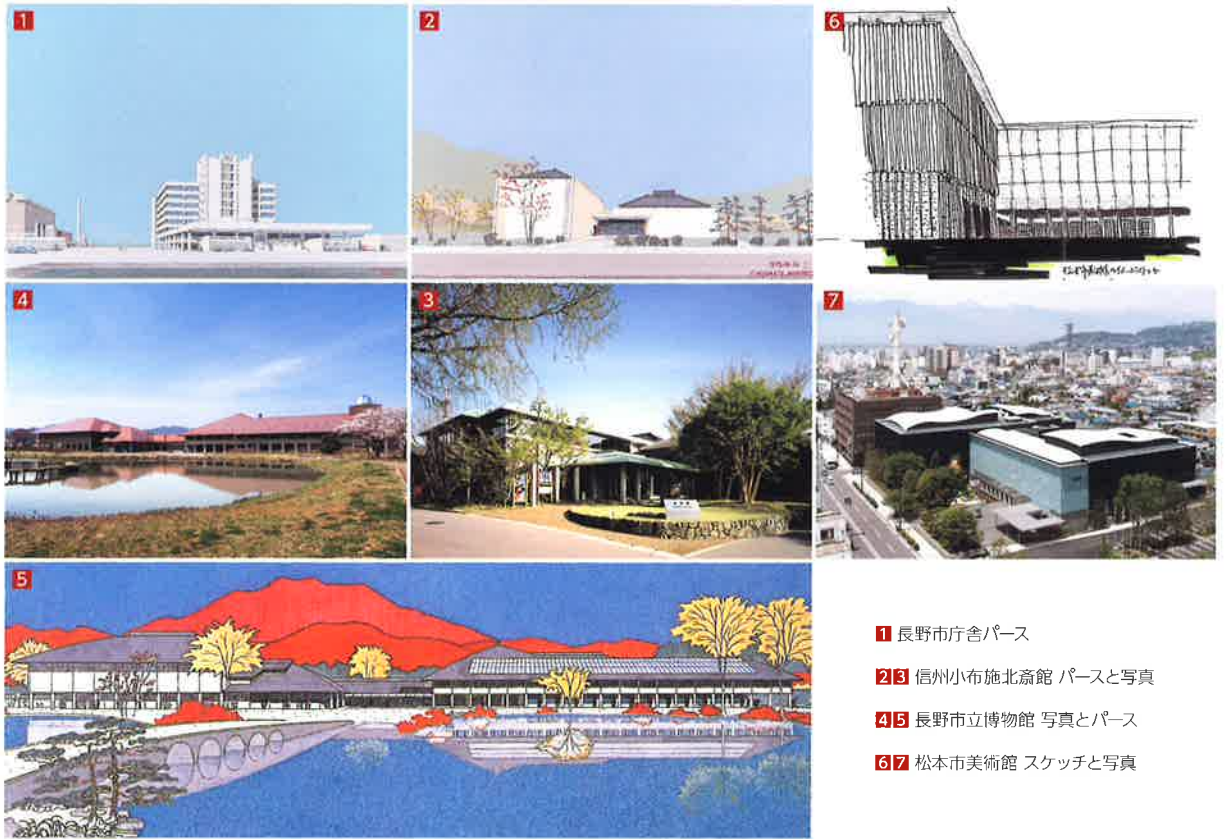
昨年(2016年)2月惜しまれつつ氏は逝去されましたが、今回、残された建築作品と感性溢れるスケッチを多くの皆様にご覧いただき、在りし日の活躍と業績を偲んでいただけたらと、宮本忠長展一五十二年の軌跡一を企画いたしました。

皆様どうぞご覧ください。



略歴 みやもと ただなが 宮本 忠長

1927年長野県須坂市生まれ。早稲田大学教授 建築家 佐藤武夫に師事し、早稲田大学理工学部建築学科(工業経営)を卒業したのち、佐藤武夫設計事務所に14年在籍する。1964年故郷の地、長野で宮本忠長建築設計事務所を設立。同年長野市庁舎の設計を手掛ける。その後も小布施町の町並修景や長野市立博物館、松本市美術館など、数々の代表作を生み出し、日本建築学会賞、毎日芸術賞、日本芸術院賞を受賞する。小布施町をはじめ、地域に根ざした建築家としての功績が認められ、2002年から2010年まで公益社団法人日本建築士会連合会会長を3期にわたって務めあげた。2016年2月25日逝去。享年89(満88歳)。



- 1 長野市庁舎パーキング
- 2 3 信州小布施北斎館 パースと写真
- 4 5 長野市立博物館 写真とパース
- 6 7 松本市美術館 スケッチと写真

基調講演「地の塩」

講師：建築家 内藤 廣

10月28日(土) 午後2時～

於：北斎ホール 大ホール

参加費無料 定員300名(先着順でのご案内となります)

パネルディスカッション

「宮本忠長と小布施」

10月28日(土) 午後3時30分～ 於：北斎ホール 大ホール

参加費無料 定員300名(先着順でのご案内となります)

コーディネーター：(一社)長野県建築士会副会長 荻原 白

パネラー：建築家 内藤廣、信州大教授 土本俊和、(株)小布施堂代表取締役 市村次夫



小布施町北斎ホール

〒381-0201 長野県上高井郡小布施町小布施1491番地2
TEL026-247-3111